

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域支援センター・さくら		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもや、保護者が安心感を持って預けられる環境(人的要因、環境的要因の配慮)	・子どもたちへの対応では賞賛することで、自己肯定感を高めていけるように支援を行っている。 ・自然豊かな環境でのびのび生活できることでストレスを緩和 ・日頃からの保護者に対する情報共有(子どもの課題についての共通認識と理解)	・職員の支援スキル向上のためにより良い研修機会の提供を行っている。 ・日頃から送迎時の情報共有では子どもの詳しい状況をお伝えするようにしている。
2	・活動プログラムの固定化が起きないよう、新しい取り組みを行っている。	・各月の担当職員がイベントの企画立案を行い、職員会議の中で十分に協議し実施している。	・子どもたちの長所短所に目を向けた活動やより専門性のある支援を計画にする。
3	・併設している短期入所事業所との保護者を含めた連絡調整や利用調整・進路相談のしやすさ。	・各事業所との情報共有を密に行い、子どもの発達課題の把握を丁寧に行っている。	・保護者の意向に沿った相談支援を引き続き行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の少なさ。	・実施する場合、開所日では職員確保に難しさがある。	・保護者の意見を取り入れた勉強会の実施など ・保護者同士で意見交換をできる機会の提供(茶話会や活動参観など) ・開所日の開催を視野に入れて計画を行っていく。
2	・地域活動への参加の少なさ。	・多岐にわたる障害特性を持つ児童の多さから、屋外活動や地域活動への参加が安全性を損なう可能性がある。	・安全面には配慮を行いつつ、地域行事等へ参加する機会を増やして行けるように計画を行っていく。
3			